

通 信

沖縄生物学会第55回大会の開催のお知らせと講演プログラム

沖縄生物学会の第55回大会を下記の要領で開催いたします。今大会は口頭発表16題、ポスター発表20題（小学生1題、中学生1題、高校生3題、一般15題）の発表を予定しております。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

沖縄生物学会 第55回大会

会期：2018年5月19日（土）

会場：沖縄県立芸術大学 首里当蔵キャンパス 一般教育棟3階（301・302・大講義室）

問い合わせ先（大会長：藤田喜久まで）：098-882-5027（研究室）、090-9599-8131（携帯）、
galatheids@yahoo.co.jp（メール）

大会日程

受 付	8:50～	一般教育棟3階（廊下）
開 催 挨 拶	9:20～9:25	一般教育棟 大講義室
一般講演（口頭発表）	9:30～11:45	一般教育棟 大講義室（A会場）・ 301教室（B会場）
休 憩（昼食）	11:45～12:45	
総 会	12:45～13:45	一般教育棟 大講義室
受賞講演	13:45～14:10	一般教育棟 大講義室
休 憩	14:10～14:20	
小学生・中学生高校生・一般ポ スター発表	14:20～15:50	一般教育棟 302教室
公開シンポジウム	16:00～17:30	一般教育棟 大講義室
懇親会	18:00～	大学周辺居酒屋（p.7参照）

沖縄生物学会第55回大会準備委員会

大会長 藤田喜久

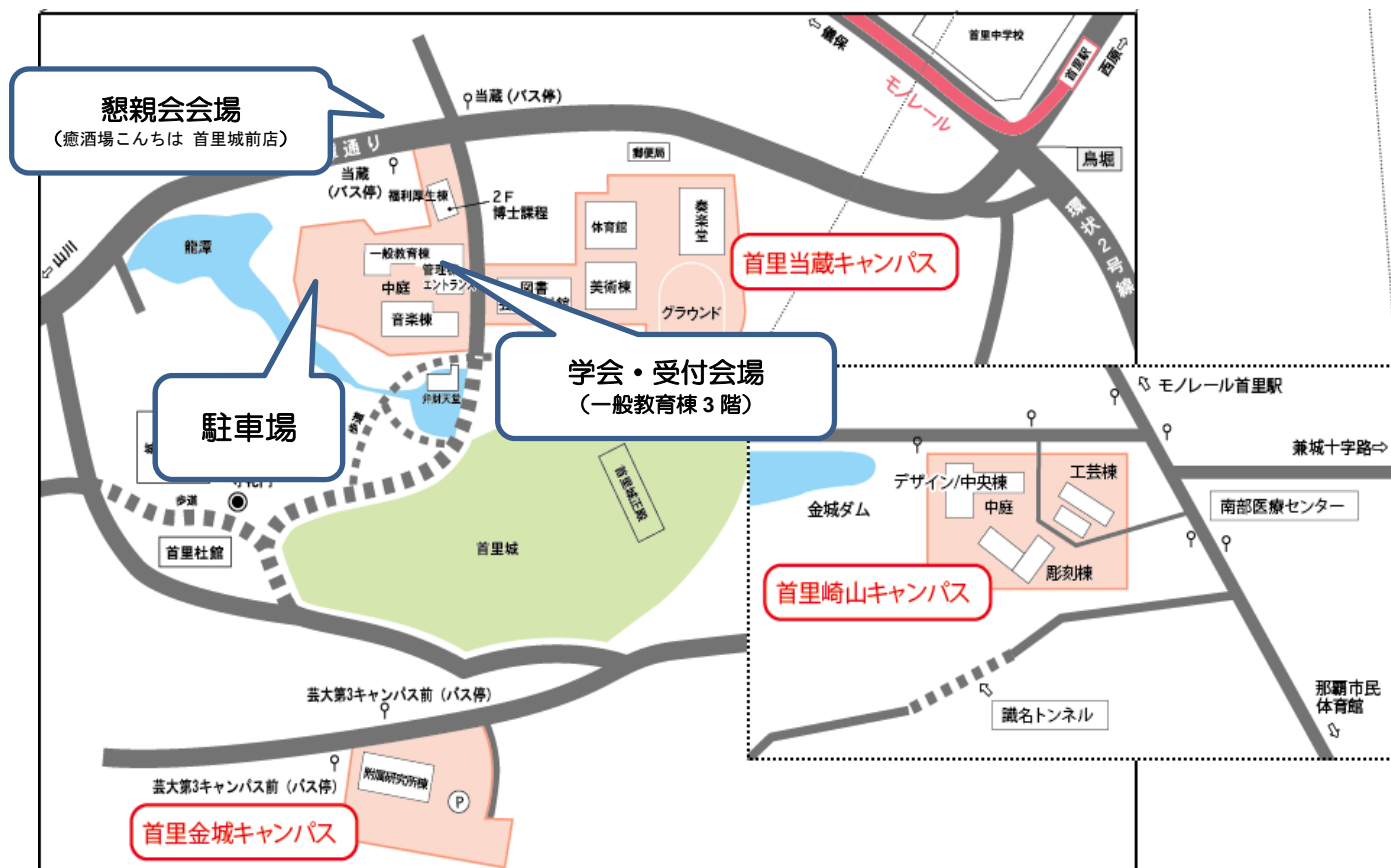
準備委員会委員長 藤田喜久

準備委員会委員：当山昌直・伊澤雅子・玉城 歩・傳田哲郎・戸田 守・富永 篤・
中村 崇・中西 希・成瀬 貫・守田昌哉・山川彩子

沖縄生物学会第55回大会

会期：2018年5月19日(土)

会場：沖縄県立芸術大学 首里当蔵キャンパス 一般教育棟3階(301 教室・302 教室・大講義室)



会場案内

場所：沖縄県立芸術大学首里当蔵キャンパス

沖縄県那覇市首里当蔵町 1-4

* 駐車場はありますが、大会当日は学内イベント(球技大会)がありますので、混み合う可能性があります。

* アクセス案内：<http://www.okigei.ac.jp/access/index.html>

大会会場：一般教育棟 301 教室・302 教室・大講義室

懇親会会場：癒酒場こんちは 首里城前店

沖縄生物学会第55回大会参加費：1,500円(学生1,000円)

(※高校生以下は参加費免除)

懇親会費：事前：2,500円 当日：3,500円

(学生1,500円)

(※懇親会当日受付は先着10名様まで！お急ぎ下さい！)

<交通案内>

・モノレール利用の場合

首里駅徒歩約10分

・バス利用の場合

「当蔵」バス停下車、
徒歩1分

那覇バス系統番号

[1]首里牧志線 / [17]石嶺
(開南)線 / [46]糸満西原線
/[14]牧志開南循環線

沖縄バス系統番号

[8]首里城下町線

一般講演 【9:30~11:45】

*** 今大会は2会場(A会場、B会場)で行いますので、ご注意ください。**

<A会場(一般教育棟 大講義室)>

O-01 9:30-9:45

海底洞窟に生息するクモヒトデ類について
岡西政典 (東大・三崎臨海)・○藤田喜久 (沖縄県芸)

O-02 9:45-10:00

琉球列島における海中洞窟の貝類相
○水山克 (琉球大・院・理工)・久保弘文 (沖縄深層水研)・伊勢優史 (USM・CEMACS)・
藤田喜久 (沖縄県芸)

O-03 10:00-10:15

沖縄県沿岸に生息するカキの系統解析
○塚原正俊・阿部峻之・塚原恵子・島田康子 (バイオジェット)・西川信良 (牡蠣研究家)・本間公也 (共和コンクリート工業)

O-04 10:15-10:30

沖縄島南部名城ビーチ周辺におけるウミガメ類の上陸産卵および孵化率調査
喜久川成美・○山川 (矢敷) 彩子 (沖国大・地域環境)

休憩 10:30-10:45

O-05 10:45-11:00

全球規模の交配実験で示されたナガミハマナタマメ集団間の授粉後生殖隔離の可能性
○梶田結衣 (琉大・熱生研・西表)・山本崇 (琉大・熱生研・西表, 鹿児島大・連合農)・柴村奈緒子 (京大・生態研センター)・井村信弥 (琉大・熱生研・西表)・石垣圭一 (琉大・熱生研・西表)・堤ひとみ (琉大・熱生研・西表)・Alison KS Wee (広西大林学院)・高山浩司 (京大院・理・植物)・梶田忠 (琉大・熱生研・西表)

O-06 11:00-11:15

イルカンダ (マメ科) における花粉の再配置機構
○傳田哲郎・喜納優豊・横田昌嗣・小林峻・伊澤雅子 (琉球大・理・海洋自然)

O-07 11:15-11:30

屋我地島に分布するヒルギダマシ *Avicennia marina* とウラジロヒルギダマシ *A. alba* の比較 - 幼樹成長、蕾・花・種子形成率、種子生産量及び種子サイズについて -
○新垣裕治

O-08 11:30-11:45

水中の標本における表面構造の顕微鏡観察 (偏光および落射斜光照明-観察)
○泉水 奏 (琉球大学医学系研究科 人体解剖学講座)

<B会場(一般教育棟 301室)>

O-09 9:30-9:45

沖縄島における甲虫類の外来種について、近年の状況

○楠井善久(那覇市首里)

O-10 9:45-10:00

南西諸島における侵略的外来生物ウシガエルの導入・分布記録と定着状況

○嶋津信彦(外魚研; IWL)

O-11 10:00-10:15

アマガエルの変態期の呼吸について

○飯田勇次(玄海地区生物教育研究所)・田中邦明(北海道教育大学函館校)

O-12 10:15-10:30

繁殖期の産卵場所に集まるハナサキガエルオスの個体数について(2018年2月の場合)

○千木良芳範(宜野湾市博)

休憩 10:30-10:45

O-13 10:45-11:00

非繁殖期のヤンバルクイナの活動パターンとねぐら

○野澤文人(琉大院・理工)・伊澤雅子・中西希・小林峻(琉大・理)・尾崎清明(山階鳥研)

O-14 11:00-11:15

飼育下のヤンバルクイナにおけるアクティビティの季節変動

○島田将喜・山田朋実・森貴久(帝京科学大・生命環境)・玉那覇彰子・向真一郎・吉永大夢・半田瞳・中谷裕美子(どうぶつたちの病院沖縄)

O-15 11:15-11:30

マングースにおける化学的防除手法の開発とその試算

○城ヶ原貴通(宮崎大・フロンティア)・Robert T. Sugihara(USDA/NWRC Hawaii Field Station)・寺田考紀(沖縄県・衛研)・亘悠哉(森林総研)・山田文雄(森林総研)・五箇公一(国環研)

O-16 11:30-11:45

沖縄のミミズ研究の現況 —ミミズ相の概況と代表的な種について—

○安座間安史(琉球大・教育実践総合センター)

【11:45~12:45】 休憩 (昼食)

【12:45~13:45】 総会 一般教育棟 大講義室

【13:45~14:10】 受賞講演 一般教育棟 大講義室

池原貞雄記念賞 環境保護部門 受賞団体 NPO法人 どうぶつたちの病院沖縄
講演タイトル「未来へつなぐ・約束」

【14:10~14:20】 休憩

【14:20～15:50】 小学生・中学生・高校生・一般ポスター講演

会場:一般教育棟 302 室

<ポスター講演(一般)>

P-01. 沖縄の教師による生物領域授業の開発

○比嘉俊(琉球大学・教職大学院)

P-02. ミトコンドリア DNA 調節領域の塩基配列に基づくオオテナガエビの遺伝的集団構造解析

○高田賢人・今井秀行(琉球大・理)

P-03. ハナヤサイサンゴ属(*Pocillopora*)における光環境と色彩多型の関係性

○児玉悠仁(琉球大院・理工)・中村崇(琉球大・理)

P-04. Genetic Diversity and Population Structure of Fiddler crab, *Austruca perplexa* in the east and west part of Indonesia baed on mitochondrial control region sequences

○Eko Hardianto (University of the Ryukyus)・Diah Permata Wijayanti (Diponegoro University)・Hideyuki Imai (University of the Ryukyus)

P-05. 西表島北西部のウミシヨウブ藻場における魚類群集構造

○井上太之・水谷 晃(東海大・沖縄地域研)・堤 洗貴(東海大・海洋)・南條楠土(水大校・生物生産)・河野裕美(東海大・沖縄地域研)

P-06. コバノタツナミとアカボシタツナミソウ(シソ科)の発芽特性の比較

○新垣昇吾(琉球大・院・理工)・吉村光(琉球大・院・理工)・濱川命(琉球大・理)・横田昌嗣(琉球大・理)・傳田哲郎(琉球大・理)

P-07. 沖縄島と南大東島におけるオオハマボウ *Hibiscus tiliaceus* L.の送粉生態

○福川優希(琉球大・院・理工)・上原彩乃・横田昌嗣・傳田哲郎(琉球大・理)

P-08. ミトコンドリア DNA 調節領域の塩基配列分析による西太平洋産ハマダイの集団構造解析

○角拓人(琉球大院理工)・甲斐哲也・秋田雄一(沖縄水海技セ)・上原匡人・太田格(沖縄県水産課)・島田和彦(沖縄県漁連)・今井秀行(琉球大理)

P-09. やんばる地域におけるイヌ及びネコによる希少ネズミ類の捕食被害

○金城貴也¹・黒田ゆうび¹・小林峻²・大河原陽子²・伊澤雅子²・大沼学³・羽賀淳³・中村織江³・岩田律子³・中谷裕美子¹・金城道男¹・長嶺隆¹(¹NPO どうぶつたちの病院沖縄;²琉球大・理;³国立環境研究所)

P-10. 仲ノ神島海鳥集団繁殖地の植物相

○水谷晃(東海大・沖縄地域研)・藤吉正明(東海大・教養)・河野裕美(東海大・沖縄地域研)

P-11. 遺伝子解析によるシガテラ原因魚種鑑別

○大城聡子(沖縄県衛環研)・今井秀行(琉球大・理)・高嶺朝典・仲眞弘樹・泉水由美子・佐久川さつき・恵飛須則明(沖縄県衛環研)

P-12. ヤンバルクイナの基盤使用行動と脳におけるウルストの発達

○中尾達郎・島田将喜(帝京科学大・生命環境)・山崎剛史(山階鳥研)・荻原直道(慶應大・理工/東大・院・理学)

P-13. 沖縄県サンゴ礁保全再生地域モデル事業の概要

○長田智史(沖環科)・津波昭史(沖縄県・自然保護)・中村良太(水産土木)・當山真由美(都市科学)・金城賢(沖縄県・自然保護)

P-14. 飼育下における希少水生昆虫ヒメフチトリゲンゴロウの成長過程と幼虫の餌選択性

○北野忠・小田島樹・村木凌・熊谷肇(東海大学教養学部)・河野裕美(東海大学沖縄地域研究センター)

P-15. 宮古諸島における外来種インドクジャク的生活環と生息状況

○亘悠哉(森林総研)・権田雅之(WWF Japan)

<ポスター講演(小学生)>

SP-01. 「姿を見せないのにヤンバルクイナは北国小近くにいるのか？」

○武田小夏・浦崎斉磨・稲福陽人・稲福莉亜奈・浦崎未安(北国小児童)・金城明美(北国小校長)

<ポスター講演(中学生)>

CP-01. 糸満市真栄里海岸における打ち上げ貝の採集調査

○上原一路(糸満中学校1年)・上原之映(糸満市)

<ポスター講演(高校生)>

KP-01. 今帰仁村内の河川調査(水生生物と水質による環境評価)

○伊豆原滉一朗・○具志堅光・○川口真凜・○幸喜凧(北山高校生物部2年)

KP-02. ウデナガカクレダコの観察学習実験

○沖縄県立北部農林高等学校 生物研究部

KP-03. 校内に生息するドジョウの生態調査

○沖縄県立北部農林高等学校 生物研究部

【16:00～17:30】 公開シンポジウム 一般教育棟 大講義室

「大東諸島のピロウをめぐる生き物たち」

コンビナー: 傳田 哲郎・伊澤 雅子(琉球大学・理)

琉球列島で唯一の海洋島である大東諸島には、この島でしか見られない固有の生き物たちが暮らしている。しかし、島が小さいことや、遠隔地にあること、大規模な農地開発によって森林がほとんど残っていないということなどのためか、生物学的には、琉球列島の他の地域ほど注目を集めてこなかったように思われる。近年の研究によって大東諸島における興味深い生き物たちの営みが明らかになるにつれ、大東の島々が他の地域に代えることのできない独自の生態系を持つことがわかってきた。今回のシンポジウムでは、大東諸島の生態系を支えるピロウをキーワードに、それぞれの演者が大東諸島で行ってきた研究を紹介しながら、ピロウと関わりながら暮らす大東諸島の魅力ある生き物たちについて紹介する。

「ちょっと不思議な大東諸島のピロウ」

傳田哲郎 (琉球大・理・海洋自然科学)

「ピロウの森の食物連鎖～ダイトウコノハズクの採餌生態～」

岩崎哲也 (大阪市大・大学院)

「ピロウの恵みを受けて生きるダイトウオオコウモリ」

安部慶一郎 (天理教校学園高等学校)

「ピロウの森と幻のヒサマツサイカブト」

佐々木健志 (琉球大博物館・風樹館)

【18:00～】 懇親会

癒酒屋こんちは首里城前店(芸大・首里当蔵キャンパスより徒歩2分)

公開シンポジウム終了後、大学近くの居酒屋(こんちは 首里城前店)に移動し、懇親会を予定しております。今回は一般的な居酒屋でのアットホームな懇親会を予定しております。講演時間内に出来なかった討論や会員同士の親睦をより深めるため、是非ご参加下さい。

沖縄生物学会評議員会報告

沖縄生物学会評議員会が2018年4月9日(月)午後7時から、琉球大学理学部528教室において開催されました。参加者は22名でした。

[報告事項]

1. 第55回大会準備・運営・分担について

準備状況について藤田会員(大会実行委員長)より報告がありました。大会は2018年5月19日(土)に沖縄県立芸術大学の首里当蔵キャンパスにて開催予定であることが報告されました。懇親会は近くの居酒屋で行う予定との報告がありました。詳細は1~7ページをご覧ください。

2. 学会通信の準備状況について

山川庶務より報告がありました。例年通りの内容を掲載予定であることが報告されました。

3. 次期役員の担当について

会長・副会長は、継続予定であること、その他の役員については調整中であることが報告されました。会長、副会長、監査は総会での承認が必要なので、5月の評議員会、総会までにまでに内諾を得ておく必要があることが報告されました。幹事についても支障の無い範囲で交代が望ましいことが報告されました。中学・高等学校の会員が減少していること、各大学等の会員も役員に入ってもらい、バランスをとるようにする予定であることが報告されました。

4. その他の事項について

その他の報告として2018年1月15日に琉球大学附属図書館から地域学リポジトリへの登録の依頼があり成瀬編集幹事が対応したこと、同年2月20日に日本学術振興会より第34回国際生物学賞受賞候補者の推薦依頼があり、今年の実賞分野は「古生物学」であり、本学会からの推薦の予定はないと回答したこと、同年3月9日にNTTドコモよりやんばるのノイヌ対策について問い合わせがあり伊澤幹事が対応したこと、同年3月9日に内閣府大臣官房総務課より第12回みどりの式典の開催(4月27日)について連絡があり、欠席と回答したことが報告されました。

[審議事項]

1. 池原貞雄記念賞について

池原貞雄記念賞について千木良選考委員長より報告されました。昨年度の通信101号で2017年12月6日から募集開始し、2018年1月31日で締め切った結果、一件の推薦を受理した事が報告されました。2月4日付けで会長から選考委員会委員長あてに諮問があり、2月17日付けで選考委員会委員長より答申した事が報告されました。審議の結果、環境保護部門でNPO法人 どうぶつたちの病院沖縄(理事長:長嶺隆)が受賞することが評議員会で承認されました。また、池原賞の周知のため、受賞についてマスコミへ連絡する予定であることが報告されました。

生物関連画像データベース試験公開 & データベース画像大募集！（継続）

沖生会員ならびに沖生教研会員の皆様、大変長らくお待たせしました。

え？別に待ってないよ？

そんなこと言わないでください。

2016年5月の学会総会で提案、可決いたしました沖生会理科連携ワーキンググループ運営による画像データベース（以下DB）が、始動しております！

しかし、まだまだ投稿画像が少ない状態です…(T_T)。

会員の皆様方に画像DBを見ていただければイメージがわき、画像の投稿を頂けるということで、画像DBの一部を試験公開中です。

下記URLよりユーザ名、パスワードを入れれば閲覧が可能になっております。このユーザ名とパスワードは一時的なものですので、完全公開になればまた、変更の可能性があります。会員の皆様方には一度ご覧になって頂き、どしどしご応募いただければと思います。

http://www.okibio.jp/photo/index.php ユーザ：oki_estu パスワード：Okibi0_estu

画像の投稿について Q&A

1. どんな画像を投稿すればいいの？

生物に関するものなら何でもかまいません。大学や高校の授業で使えそうだな、と思うものならなお良しですね。本DBは、単なる“生きものの”DBではなく“**授業に使える**”が売りのDBを目指し、ネット上の他の数多のDBとの差別化を図りたいと考えています。

また、こんな画像欲しいな、あんなの誰か投稿してくれないかな、などの要望も随時受けたいと思います。

2. 投稿する画像の大きさに制限はないの？

投稿画像は1枚5MBまでとします。大きい場合は提供者が投稿前に5MB以下に縮小してください。

3. 映像は投稿できないの？

5MB以下なら問題ありませんが、当面は**画像優先**でおねがいします

4. 画像の投稿は何枚までOK？

枚数の制限はありません。メール添付で送ってください（メールアドレスは以下に）。

ただし、今年度は全部で1,000枚までを上限とします。それを越えた場合は、総会以後（2017年5月20日）にまた追加します。

5. 画像にクレジットは入るの？

DB内の画像には**クレジットは入りません**（クレジットを入れる作業は行いません）。提供者がクレジットを入れたい場合は、投稿前にご自身で入れてください。

6. ファイル名はなんでもいいの？

ファイル名は以下のようにしてください。

『 20170203, 細胞と代謝, 実験, ゾウリムシ, 山崎仁也 』

『 日付、階層名（下図参照）、生物名、提供者名 』の順です。ワードの切れ目はカンマかスペースをお願いします。

ルールに従っていない場合、不備や誤記、不明な点があった場合は係より問い合わせがまいります。

このファイル名が利用時に検索する際のキーワードにもなります。他のキーワードを設定したい場合は、生物名の前後にはさんでください。

7. 画像の送り先は？

送り先は、沖縄県総合教育センター（IT 教育センター）にて設定された沖縄生物教育研究会のメールアドレスで、アドレスは以下です。

画像の送り先 『 okisei@as.open.ed.jp 』

こちらにメール添付で送られた画像を、係が分担して確認し、随時 DB へ受け渡します。

投稿に関して疑問点や問い合わせがある場合も、上記アドレスにて対応可能です。

ただし、投稿以外の DB に対する提案、疑義等に関しては沖生会 HP の問い合わせアドレス (okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp) へ連絡ください。

8. 著作権はどうなってるの？

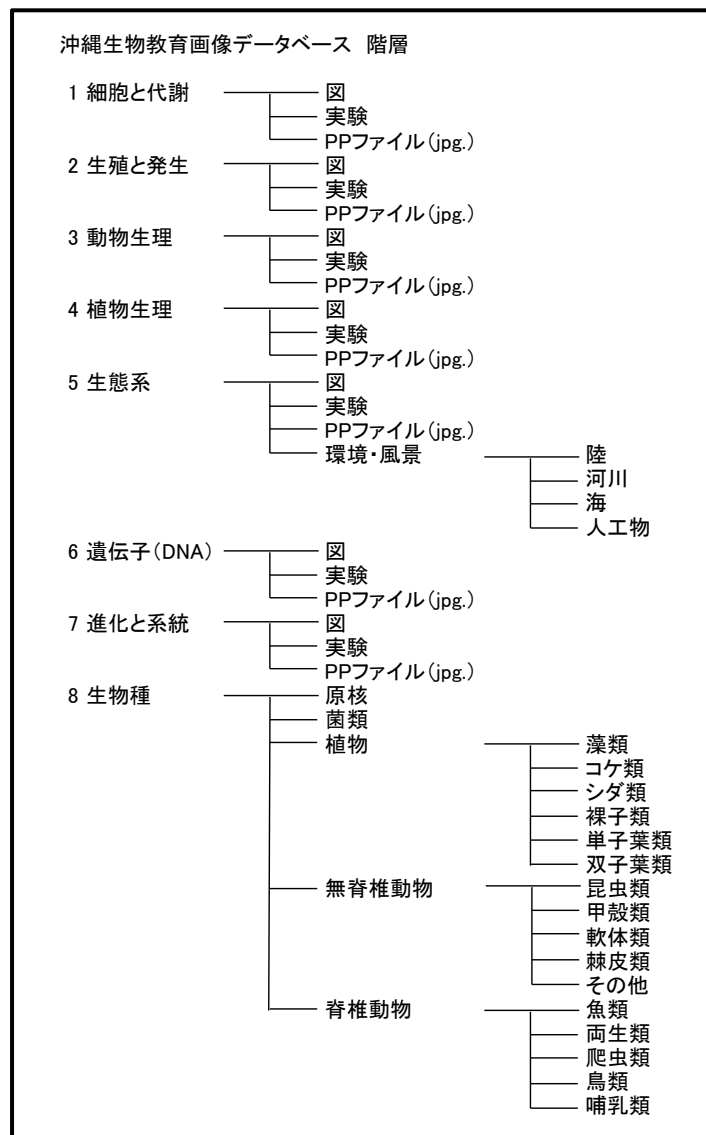
この DB は、“**会員が気軽に自由に使える**”ことを目的としています。つまり、**著者の権利はほとんど保護されておられません**。他に流出したらかなわんな、と思うような画像は提供されない方が無難です。自由に使ってください、というものをご提供ください。

授業で活用するのはもちろんのこと、データのやりとりから個人的なつながりができるのもよし、画像が貯まったら沖生会で写真集（図鑑）を出すもよし、沖生教研の副読本に利用するもよし、用途の発展は無限ですね。

ではではみなさま！

ふるって投稿してください！！

お待ちしております(^_^)/



沖縄生物学会役員一覧表

沖縄生物学会の会長、副会長、監査員および評議員は下記のとおりです(2018年3月時点)。任期は2年間で、2018年5月の総会までです。

会長 当山 昌直(沖縄大学地域研究所)
副会長 千木良 芳範(宜野湾市立博物館)、桃原 健次(沖縄生物教育研究会)

監査員 盛口 満(沖縄大学)
齊藤 由紀子(琉球大学)
山崎 仁也(県立博物館・美術館)

評議員

大学関係 新垣 裕治(名桜大学) 照屋 建太(沖縄キリスト教短期大学)
藤田 喜久(県立芸大)
研究機関 岡 慎一郎(沖縄美ら島財団)
長井 隆(沖縄県環境科学センター) 水野 拓(イーエーシー)
行政機関 城間 恒宏(沖縄県教育庁) 德里 政哉(沖縄県自然保護課)
高校関係 大城 直輝(那覇西高校) 知花 史尚(中部商業高校)
大隅 大(名護高校)
中学校関係 平敷 りか(中城中学校)

池原貞雄記念賞選考委員会委員長 千木良 芳範(宜野湾市立博物館)
池原貞雄記念出版委員会委員長 横田昌嗣(琉球大学)
自然史博物館設立要請委員会委員長 戸田 守(琉球大学)

庶務幹事 伊澤雅子(代表幹事:琉球大学) 中村 崇(琉球大学)
富永 篤(琉球大学) 戸田 守(琉球大学)
中西 希(琉球大学) 山川(矢敷)彩子(沖縄国際大学)
会計幹事 傳田哲郎(琉球大学) 玉城 歩(琉球大学)
編集幹事 成瀬 貫(琉球大学) 守田 昌哉(琉球大学)
編集委員 久保田 康裕(琉球大学) 太田 英利(兵庫県立大学)
大瀧丈二(琉球大学) 今井秀行(琉球大学)

会員の方々からも沖縄生物学会への思い、ご意見、活動、紹介したい内容などがございましたら、事務局にお知らせいただくか、学会のホームページにお寄せ下さい。電子メールは、okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp です。

沖縄県生物学会賛助会員

本学会にご協力いただいている賛助会員は下記の通りです。

株式会社 猪原商会 沖縄営業所 所長 小林宏行
〒900-0033 那覇市久米1丁目7番10号 (098)868-6373

株式会社 森山商事 代表取締役 森山紹政
〒902-0064 那覇市寄宮2丁目29番22号 (098)835-4056

株式会社 イーエーシー 代表取締役 大石哲也
〒901-2127 浦添市屋富祖3丁目34番17号 (098)942-0085

原稿募集のお知らせ

これまで沖縄生物学会誌では、12月末に「締め切り日」を設け、この日までに投稿された原稿を全て掲載してきました。しかし、一部論文では審査が長引き、その結果、出版が本来の3月末から大幅に遅れ、9月や10月に発行されていました。そこで、第45号より締め切り日を廃止し、期日までに投稿されたものでなく、印刷業者への入稿日までに審査の終わったものを掲載するように変更しました。

1回の審査には、早くも2週間、通常は2ヶ月程度要しています。編集委員会での承認や校正作業、さらには年度末の印刷業者の混み具合、査読者への負担等を考えると、年明けに審査の終了していない論文は掲載が非常に難しくなります。

つきましては、諸事情をご理解の上、何卒お早めのご投稿をお願いします。投稿に際しては、第45号より投稿規定が大幅に変更されていますので、ご注意ください。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、e-mailによる原稿に関するお問い合わせは、編集幹事の成瀬貫 (naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp)までお寄せ下さい。

原稿送付先: 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1
琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内
沖縄生物学会編集委員会

沖縄生物学会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地
琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内
生物系事務室 TEL:(098)895-8577
庶務 中村 崇 (098)895-8897
FAX:(098)895-8576, okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp
振替口座(郵便):02030-8-30433 沖縄生物学会